

デンソーテングループ地球環境憲章

【基本理念】

デンソーテングループは、環境と経済の両立が経営の重要課題と認識し、Automotive Electronics, Entertainment, Information and Communication Technology 分野で培ったテクノロジーと創造力を活かし、人と車と環境のよりよい関係づくりを推進します。さらに、低炭素社会の実現と社会の持続可能な発展に寄与し、緑豊かな21世紀社会へ貢献します。

【基本方針】

1. グローバル企業としての責任遂行

グローバルに構築した環境マネジメントシステムの枠組みを通じて、事業活動のすべての領域で環境リスクの低減ならびに環境パフォーマンスの継続的向上を図るため、最新の環境技術を追求し、環境と経済の両立に向けた製品開発や事業取組みを行います。

2. 基本の徹底と自主的な取組み

汚染予防のコミットと環境法規制の順守はもとより、お客様の要望や社会動向に素早く対応し、中長期VISION、取り組みプランを設定して本来業務に根ざした効率の良い環境保全活動を推進します。

3. 社会との連携・協力

企業市民として国・自治体などの環境施策や社会貢献への取り組みに積極的に参画、支援を行うとともに、お客様とのコミュニケーションを大切にし、事業活動における環境保全の実績、製品・サービスの環境性能について、積極的に情報開示します。

【行動指針】

1. ライフサイクルの各過程において、環境負荷の低減に努めます。

(1) 製品・サービスにおける環境負荷低減

- ① 環境に貢献する事業の創出・推進と製品開発に努めます
- ② ライフサイクルアセスメント(LCA)、環境効率ファクターなどの定量的な評価手法に基づく製品環境配慮設計を推進し、スーパーグリーン製品の開発を推進します。
- ③ 製品への環境負荷物質(SOC)の管理を徹底し、法規適用までに自主的な切替対応を推進します

(2) 事業活動に伴う環境負荷の低減

- ① 低炭素社会実現に向けた地球温暖化対策を推進します
- ② 3R(Reduce・Reuse・Recycle)徹底により省資源、廃棄物削減、用紙削減に努めます
- ③ 有害物質の環境リスク低減と使用削減対策を推進します

(3) 上下流を通じたパートナーシップ

調達、販売、配送、商品廃棄など生産の上下流における省資源・省エネルギー、有害物質不使用、廃棄物発生抑制のため、グリーン調達・グリーン物流を推進します。

2. 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、マネジメント手法のブラッシュアップに努めるとともに、環境教育・啓蒙活動を充実し、社員全員の意識高揚を図り、環境経営の基盤強化に努めます。

3. 生物多様性保全の活動を含めた地域・社会への環境貢献活動を推進します。

2017年11月1日

株式会社デンソーテン

代表取締役社長:

岩田悟志

地球環境委員長:

小川尚